

平成30年度

むつ市水道事業会計決算審査意見書

むつ市監査委員



む 監 査 第 3 8 号

令和元年 8 月 9 日

むつ市長 宮 下 宗 一 郎 様

むつ市監査委員 齊 藤 秀 人

むつ市監査委員 佐々木 隆 徳

平成 3 0 年度むつ市水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された平成 3 0 年度むつ市水道事業会計の決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## むつ市水道事業会計決算審査意見書

1	審 査 の 対 象 .....	1
2	審 査 の 期 間 .....	1
3	審 査 の 方 法 .....	1
4	審 査 の 結 果 .....	1
5	審 査 意 見 .....	2

## むつ市水道事業会計決算審査概要

1	予 算 執 行 状 況 .....	4
2	経 営 状 況 .....	7
3	建設改良費の概要 .....	12
4	財 政 状 態 .....	13

\* \* \* \* \*

資 料 の 部

## 凡 例

1. 金額は、原則として円単位とし、円未満の端数は四捨五入した。
2. 比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した。
3. 構成比率は、合計が100.0となるよう一部調整した。
4. 各表中の符合の用法は、次のとおりである。

「△」…………… 負数

「0.0」…………… 該当数値があるが、表示単位未満のもの（零を含む。）

「—」…………… 該当数値のないもの、算出不能のもの

# 平成30年度むつ市水道事業会計決算審査意見書

## 1 審査の対象

平成30年度むつ市水道事業会計決算

## 2 審査の期間

令和元年6月3日から令和元年8月8日まで

## 3 審査の方法

審査に当たっては、水道事業の経営が経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努めているかに主眼をおき、提出された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類が、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して適切に処理されているか調査し、併せて、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかについて審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類は、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

## 5 審査意見

平成30年度水道事業会計決算は、収益的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、水道事業収益は1,767,147,290円、水道事業費用は1,620,188,546円となっている。

税抜き決算額では、水道事業収益は1,660,251,298円で、平成29年度と比較して28,208,427円(1.7%)、水道事業費用は1,549,615,372円で、平成29年度と比較して15,737,337円(1.0%)の減少となっている。

この結果、純利益は110,635,926円で、平成29年度より12,471,090円(10.1%)の減少となっている。

経営の概況については、水道事業収益において、給水収益が14,293,135円(1.1%)、負担金が8,009,000円(12.8%)、長期前受金戻入が5,764,495円(2.1%)減少している。

水道事業費用では、物件費が25,038,611円(8.3%)、動力費が1,429,238円(2.5%)、減価償却費が18,195,818円(2.6%)増加しているが、人件費が43,386,023円(18.6%)、資産減耗費が5,400,490円(25.1%)、企業債利息が12,200,787円(5.4%)減少している。

次に、業務の概況については、料金徴収の対象となった水量を示す年間有収水量が5,372,256 m<sup>3</sup>で、平成29年度と比較して107,593 m<sup>3</sup>(2.0%)の減少、年間給水量に対する年間有収水量の割合を示す有収率が78.8%で、平成29年度と比較して0.4ポイントの減少となっている。

資本的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、資本的収入は756,164,000円、資本的支出は1,347,579,472円となっている。

建設改良工事の概況については、平成29年度に引き続き、老朽化した水道施設を改良するための上水道整備事業として、配水場非常用発電設備更新工事、浄水場電気設備更新工事、配水管布設替工事等を実施している。また、水道施設の耐震性の向上と旧簡易水道施設を上水道に統合する水道管路緊急改善事業及び水道施設整備事業の実施により、配水管の布設工事、給水管の切替工事等を行い、安定した給水体制の整備に努めている。

今後も給水人口の減少等による、給水収益の減収や老朽化した施設及び設備の更新、耐震化促進等の費用が見込まれ、経営面への影響が懸念される。



安全でおいしい水道水を安定して供給し続けるために、より一層の経費削減、有収率の改善や中長期的な視点での設備投資等により、更なる収益の確保に努め、安定した経営を維持していくことを望む。

# 平成30年度むつ市水道事業会計決算審査概要

## 1 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減額	執行率	
水道事業収益	1,759,434,000	1,767,147,290	7,713,290	100.4	
内 訳	営業収益	1,443,645,000	1,446,689,729	3,044,729	100.2
	営業外収益	314,188,000	318,855,785	4,667,785	101.5
	特別利益	1,601,000	1,601,776	776	100.0

#### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	
水道事業費用	1,665,225,000	1,620,188,546	45,036,454	97.3	
内 訳	営業費用	1,392,822,000	1,356,279,663	36,542,337	97.4
	営業外費用	270,903,000	263,840,474	7,062,526	97.4
	特別損失	1,500,000	68,409	1,431,591	4.6

収益的収入の決算額は1,767,147,290円で、予算額に対する執行率は100.4%となっている。

このうち、営業収益は1,446,689,729円で執行率100.2%、営業外収益は318,855,785円で執行率101.5%、特別利益は1,601,776円で執行率100.0%である。

収益的支出の決算額は1,620,188,546円で、予算額に対する執行率は97.3%となっている。

このうち、営業費用は1,356,279,663円で執行率97.4%、営業外費用は263,840,474円で執行率が97.4%、特別損失は68,409円で執行率4.6%である。

## (2) 資本的収入及び支出

### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減額	執 行 率	
資 本 的 収 入	777,901,000	756,164,000	△ 21,737,000	97.2	
内 訳	企 業 債	553,700,000	532,200,000	△ 21,500,000	96.1
	一般会計負担金	168,395,000	168,158,000	△ 237,000	99.9
	国庫補助金	43,224,000	43,224,000	0	100.0
	そ の 他 資 本 的 収 入	3,510,000	3,510,000	0	100.0
	工 事 負 担 金	9,072,000	9,072,000	0	100.0

### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
資 本 的 支 出	1,426,083,251	1,347,579,472	18,011,478	60,492,301	94.5	
内 訳	建 設 改 良 費	729,748,251	651,245,423	18,011,478	60,491,350	89.2
	企業債償還金	695,851,000	695,850,049	0	951	100.0
	国庫補助金 返 還 金	484,000	484,000	0	0	100.0

資本的収入の決算額は756,164,000円で、予算額に対する執行率は97.2%となっている。

このうち、企業債は532,200,000円で、その内訳は、上水道整備事業に係る分321,600,000円、水道管路緊急改善事業に係る分101,600,000円、水道施設整備事業に係る分51,500,000円及び配水管整備事業に係る分57,500,000円である。

一般会計負担金168,158,000円は、消火栓新設工事費1,566,000円、建設改良費に要する経費としての企業債償還金8,732,142円及び統合水道等建設改良に要する経費としての企業債償還金157,859,858円にそれぞれ充当している。

国庫補助金43,224,000円は、上水道整備事業27,075,000円、水道管路緊急改善事業16,149,000円に充当している。

その他資本的収入3,510,000円は、会計システム購入に係る下水道事業負担金に充当している。

工事負担金9,072,000円は、水道橋架替工事費に充当している。

一方、資本的支出の決算額は1,347,579,472円で、予算額に対する執行率は94.5%

となっている。

このうち、建設改良費は 651,245,423 円で、その内訳は、上水道整備事業費 364,650,120 円、水道管路緊急改善事業費 129,808,491 円、水道施設整備事業費 52,267,680 円、配水管整備事業費 70,963,992 円、その他の建設改良費 12,759,800 円のほか、営業設備費として 20,795,340 円を支出している。

企業債償還金は 695,850,049 円で、企業債の元金償還に支出したものである。

国庫補助金返還金は 484,000 円で、固定資産売却に伴う支出である。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 591,415,472 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 35,724,208 円、減債積立金 123,107,016 円及び過年度分損益勘定留保資金 432,584,248 円で補填している。

(注) 「(1)収益的収入及び支出」及び「(2)資本的収入及び支出」の決算額は、消費税込みの額である。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績

水道事業収益	1,660,251,298円
水道事業費用	1,549,615,372円
差引額	110,635,926円

平成30年度の経営成績は、110,635,926円の純利益を生じた決算となっている。これを、平成29年度と比較すると12,471,090円(10.1%)の減少となっている。経営成績の推移は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
水道事業収益	1,660,251,298	1,688,459,725	△28,208,427	△1.7
水道事業費用	1,549,615,372	1,565,352,709	△15,737,337	△1.0
差引額	110,635,926	123,107,016	△12,471,090	△10.1

#### ① 水道事業収益

水道事業収益は1,660,251,298円で、平成29年度と比較して28,208,427円(1.7%)の減少となっている。

##### ア 営業収益

営業収益は1,339,801,694円で、平成29年度と比較して15,707,235円(1.2%)の減少である。

これは主に、給水収益が14,293,135円(1.1%)減少したことによるものである。

##### イ 営業外収益

営業外収益は318,847,828円で、平成29年度と比較して14,102,968円(4.2%)の減少である。

これは主に、負担金が8,009,000円(12.8%)、長期前受金戻入が5,764,495円(2.1%)減少したことによるものである。

##### ウ 特別利益

特別利益は1,601,776円で、平成29年度と比較して皆増である。

これは、長期前受金戻入過年度分収益化額である。

## ② 水道事業費用

水道事業費用は 1,549,615,372 円で、平成 29 年度と比較して 15,737,337 円 (1.0%) の減少となっている。

### ア 営業費用

営業費用は 1,325,640,421 円で、平成 29 年度と比較して 4,872,983 円 (0.4%) の減少となっている。

これは主に、物件費が 25,038,611 円 (8.3%)、減価償却費が 18,195,818 円 (2.6%) 増加したものの、人件費が職員の異動等により 43,386,023 円 (18.6%)、資産減耗費が 5,400,490 円 (25.1%) 減少したことによるものである。

### イ 営業外費用

営業外費用は 223,911,608 円で、平成 29 年度と比較して 10,630,299 円 (4.5%) の減少となっている。

減少となったものは、企業債利息 12,200,787 円 (5.4%) である。

### ウ 特別損失

特別損失は 63,343 円で、平成 29 年度と比較して 234,055 円 (78.7%) の減少となっている。

減少となったものは、固定資産売却損 190,908 円 (皆減)、過年度損益修正損 43,147 円 (40.5%) である。

## (2) 業務実績

### ① 給水の状況

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	増 減 率
給水区域内人口 A (人)	57,044	58,133	△ 1,089	△ 1.9
給水人口 B (人)	53,142	54,231	△ 1,089	△ 2.0
給水戸数 (戸)	24,538	24,691	△ 153	△ 0.6
普及率 $B / A \times 100$ (%)	93.2	93.3	△ 0.1	—
年間給水量 C (m <sup>3</sup> )	6,813,438	6,916,488	△ 103,050	△ 1.5
1人1日平均給水量 (L)	351	349	2	0.6
年間有収水量 D (m <sup>3</sup> )	5,372,256	5,479,849	△ 107,593	△ 2.0
有収率 $D / C \times 100$ (%)	78.8	79.2	△ 0.4	—

給水人口は 53,142 人、給水戸数は 24,538 戸で、平成 29 年度と比較して、給水人口で 1,089 人 (2.0%)、給水戸数で 153 戸 (0.6%) 減少となっている。

給水区域内人口 57,044 人に対して、93.2% の普及率であり、平成 29 年度と比較して 0.1 ポイントの減少となっている。

年間給水量は 6,813,438 m<sup>3</sup> で、平成 29 年度と比較して 103,050 m<sup>3</sup> (1.5%) の減少となっている。

年間有収水量は 5,372,256 m<sup>3</sup> で、平成 29 年度と比較して 107,593 m<sup>3</sup> (2.0%) の減少となっている。

また、有収率 (年間給水量に対する年間有収水量の割合) は 78.8% で、平成 29 年度より 0.4 ポイントの減少となっている。

一方、給水人口 1 人 1 日当たり給水量は 351 L で、平成 29 年度と比較して 2 L (0.6%) の増加となっている。

## ② 施設の利用状況

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	増 減 率
1 日 給 水 能 力 (A)	24,816	24,816	0	0.0
1 日 平 均 給 水 量 (B)	18,666	18,949	△ 283	△ 1.5
1 日 最 大 給 水 量 (C)	23,144	23,886	△ 742	△ 3.1
施 設 利 用 率 (B/A)	75.2	76.4	△ 1.2	—
最 大 稼 働 率 (C/A)	93.3	96.3	△ 3.0	—
負 荷 率 (B/C)	80.7	79.3	1.4	—

1日給水能力は24,816 m<sup>3</sup>で、これに対して1日平均給水量は18,666 m<sup>3</sup>となっている。

施設利用率は75.2%で、平成29年度と比較して1.2ポイントの減少となっている。

また、1日最大給水量は23,144 m<sup>3</sup>で、平成29年度と比較して742 m<sup>3</sup> (3.1%)の減少、最大稼働率は93.3%で、平成29年度と比較して3.0ポイントの減少となっている。



### ③ 料金及び原価等について

#### 1戸当たり平均給水量及び平均水道料金

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	増減率
1戸当たり平均給水量	218.9m <sup>3</sup>	221.9m <sup>3</sup>	△3.0m <sup>3</sup>	△1.4
1戸当たり平均水道料金	54,316円	54,558円	△242円	△0.4

#### 【算式】

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 給 水 量 } = \frac{\text{年 間 有 収 水 量}}{\text{給 水 戸 数}}$$

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 水 道 料 金 } = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{給 水 戸 数}}$$

#### 供給単価及び給水原価の状況

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	増減率
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 供 給 単 価	248円09銭	245円83銭	2円26銭	0.9
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 給 水 原 価	239円30銭	236円38銭	2円92銭	1.2
差 引	8円79銭	9円45銭	△66銭	－

#### 【算式】

$$\text{供 給 単 価} = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

$$\text{給 水 原 価} = \frac{\text{経 常 費 用 (※) - \left( \begin{array}{c} \text{受 託 材 料 附 帯} \\ \text{+} \\ \text{工 事 費 売 却 原 価 工 事 費} \end{array} \right)}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

(※算出に当たっては、経常費用のうち減価償却費から長期前受金戻入見合いの分を除く。)

1戸当たりの平均給水量は218.9 m<sup>3</sup>で、平成29年度と比較して3.0 m<sup>3</sup> (1.4%) の減少となっている。

平均水道料金は、54,316 円で、平成29年度と比較して242 円 (0.4%) の減少となっている。

また、1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価248 円 09 銭に対し、1 m<sup>3</sup>当たりの給水原価は239 円 30 銭となっており、その差額は8 円 79 銭となっている。

### 3 建設改良費の概要

工 事 名 等	施 工 内 容	工 事 費 ( 円 )
上水道整備事業	○ 工事費 ○ 設計、調査費等	364,650,120
水道管路緊急改善事業	○ 工事費 ○ 事務費	129,808,491
水道施設整備事業	○ 工事費 ○ 設計、調査費等 ○ 用地買収費	52,267,680
配水管整備事業	○ 配水管布設工事費 ○ 消火栓設置工事費	70,963,992
その他建設改良費	○ 水源施設改良費 ○ 用地買収費	12,759,800
営業設備費	○ 量水器費 ○ 機械器具購入費	20,795,340
建 設 改 良 費	計	651,245,423

(注) 消費税込みの額である。

建設改良費では、上水道整備事業費 364,650,120 円、水道管路緊急改善事業費 129,808,491 円、水道施設整備事業費 52,267,680 円、配水管整備事業費 70,963,992 円、その他建設改良費 12,759,800 円及び営業設備費 20,795,340 円の事業を実施している。

建設改良費全体では 651,245,423 円で、平成 29 年度と比較して 115,304,751 円 (15.0%) の減少となっている。

増加となった主なものは、上水道整備事業費 85,811,400 円 (30.8%)、配水管整備事業費 34,744,355 円 (95.9%) である。

一方、減少となった主なものは、水道施設整備事業費 122,692,320 円 (70.1%)、その他建設改良費 97,940,200 円 (88.5%) である。

## 4 財政状態

資産、負債及び資本の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
資 産	19,766,540,849	19,871,210,708	△ 104,669,859	△ 0.5
負 債	16,274,427,438	16,489,249,943	△ 214,822,505	△ 1.3
資 本	3,492,113,411	3,381,960,765	110,152,646	3.3

### (1) 資 産

資産の期末現在高は19,766,540,849円で、平成29年度と比較して104,669,859円(0.5%)の減少となっている。

その内訳は、固定資産が18,469,827,270円(資産に対する構成割合93.4%)、流動資産が1,296,713,579円(同6.6%)である。

#### ① 固定資産

固定資産は、平成29年度と比較して121,703,218円(0.7%)の減少となっている。

これは、土地1,957,108円、機械及び装置141,855,820円、建設仮勘定5,040,800円が増加したものの、建物33,791,366円、構築物228,428,375円などが減少したことによるものである。

#### ② 流動資産

流動資産は、平成29年度と比較して17,033,359円(1.3%)の増加となっている。

これは主に、現金預金6,856,728円、未収金8,170,892円、貯蔵品2,232,617円が増加したことによるものである。

### (2) 負 債

負債の期末現在高は16,274,427,438円で、平成29年度と比較して214,822,505円(1.3%)の減少となっている。

その内訳は、固定負債11,982,556,027円(負債資本に対する構成割合60.6%)、流動負債768,324,791円(負債資本に対する構成割合3.9%)及び繰延収益3,523,546,620円(負債資本に対する構成割合17.8%)である。

### ① 固定負債

固定負債は、全額、企業債であり、平成29年度と比較して174,928,107円(1.4%)の減少となっている。

### ② 流動負債

流動負債は、平成29年度と比較して8,225,964円(1.1%)の減少となっている。

これは、企業債11,278,058円(1.6%)、未払金2,434,768円(11.9%)などが増加したものの、未払い消費税及び地方消費税20,992,900円(60.4%)、引当金1,284,488円(8.3%)が減少したことによるものである。

### ③ 繰延収益

繰延収益は、平成29年度と比較して31,668,434円(0.9%)の減少となっている。

これは、長期前受金が221,666,998円(3.0%)増加したものの、収益化累計額が253,335,432円(6.6%)減少したことによるものである。

## (3) 資本

資本の期末現在高は3,492,113,411円で、平成29年度と比較して110,152,646円(3.3%)の増加となっている。

その内訳は、資本金が2,585,015,475円(負債資本に対する構成割合13.1%)及び剰余金が907,097,936円(負債資本に対する構成割合4.6%)である。

### ① 資本金

資本金は、平成29年度と比較して120,238,180円(4.9%)の増加となっている。

これは、全額、自己資本金が増加したことによるものである。

### ② 剰余金

剰余金は、平成29年度と比較して10,085,534円(1.1%)の減少となっている。

これは、資本剰余金が483,280円(0.1%)、利益剰余金が9,602,254円(2.5%)減少したことによるものである。

# 資料目次

資料 1	收益的収支比較表 .....	1
資料 2	貸借対照表比較表 .....	2



資料 1

水道事業会計収益の収支比較表

(単位：円、%)

科 目		平成 3 0 年 度		平成 2 9 年 度		比 較	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
収 入	1 営 業 収 益 a	1,339,801,694	80.7	1,355,508,929	80.3	△ 15,707,235	△ 1.2
	給 水 収 益	1,332,798,673	80.3	1,347,091,808	79.8	△ 14,293,135	△ 1.1
	受 託 工 事 収 益	0	0.0	0	0.0	0	—
	そ の 他 営 業 収 益	7,003,021	0.4	8,417,121	0.5	△ 1,414,100	△ 16.8
	2 営 業 外 収 益	318,847,828	19.2	332,950,796	19.7	△ 14,102,968	△ 4.2
	受 取 利 息	98,840	0.0	20,000	0.0	78,840	394.2
	補 助 金	0	0.0	0	0.0	0	—
	負 担 金	54,635,000	3.3	62,644,000	3.7	△ 8,009,000	△ 12.8
	長 期 前 受 金 戻 入	263,989,938	15.9	269,754,433	16.0	△ 5,764,495	△ 2.1
	雑 収 益	124,050	0.0	532,363	0.0	△ 408,313	△ 76.7
3 特 別 利 益	1,601,776	0.1	0	0.0	1,601,776	皆増	
そ の 他 特 別 利 益	1,601,776	0.1	0	0.0	1,601,776	皆増	
収 入 計 (A)	1,660,251,298	100.0	1,688,459,725	100.0	△ 28,208,427	△ 1.7	
支 出	1 営 業 費 用	1,325,640,421	85.5	1,330,513,404	85.1	△ 4,872,983	△ 0.4
	人 件 費	189,651,768	12.3	233,037,791	14.9	△ 43,386,023	△ 18.6
	物 件 費	325,869,495	21.0	300,830,884	19.2	25,038,611	8.3
	動 力 費	58,919,643	3.8	57,490,405	3.7	1,429,238	2.5
	薬 品 費	6,766,200	0.4	6,896,550	0.5	△ 130,350	△ 1.9
	減 価 償 却 費	723,876,910	46.7	705,681,092	45.1	18,195,818	2.6
	そ の 他 の 営 業 費 用	20,556,405	1.3	26,576,682	1.7	△ 6,020,277	△ 22.7
	2 営 業 外 費 用	223,911,608	14.5	234,541,907	14.9	△ 10,630,299	△ 4.5
	企 業 債 利 息	214,892,572	13.9	227,093,359	14.5	△ 12,200,787	△ 5.4
	一 時 借 入 金 利 息	0	0.0	0	0.0	0	—
	そ の 他	9,019,036	0.6	7,448,548	0.4	1,570,488	21.1
	3 特 別 損 失	63,343	0.0	297,398	0.0	△ 234,055	△ 78.7
	固 定 資 産 売 却 損	0	0.0	190,908	0.0	△ 190,908	皆減
	災 害 に よ る 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—
	過 年 度 損 益 修 正 損	63,343	0.0	106,490	0.0	△ 43,147	△ 40.5
そ の 他 特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—	
支 出 計 (B)	1,549,615,372	100.0	1,565,352,709	100.0	△ 15,737,337	△ 1.0	
収 支 差 引 (A)－(B)	110,635,926		123,107,016		△ 12,471,090		△ 10.1
累 積 欠 損 金 b	0		0				
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,296,713,579		1,279,680,220			
	う ち 未 収 金	197,594,502		189,423,610			
	流 動 負 債 (イ)	768,324,791		776,550,755			
	う ち 一 時 借 入 金	0		0			
	う ち 未 払 金	36,606,138		55,164,270			
	差 引 (イ)－(ア) (C)	—		—			
累 積 欠 損 金 比 率 b/a×100	—		—				
不 良 債 務 比 率 (C)/a×100	—		—				





## 資料2

### 水道事業会計貸借対照表比較表

(単位：円、%)

科目	平成30年度		平成29年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
固定資産	18,469,827,270	93.4	18,591,530,488	93.6	△ 121,703,218	△ 0.7
有形固定資産	18,468,128,416	93.4	18,589,831,634	93.6	△ 121,703,218	△ 0.7
無形固定資産	1,698,854	0.0	1,698,854	0.0	0	0.0
流動資産	1,296,713,579	6.6	1,279,680,220	6.4	17,033,359	1.3
現金預金	1,075,922,625	5.5	1,069,065,897	5.4	6,856,728	0.6
未収金	197,594,502	1.0	189,423,610	0.9	8,170,892	4.3
貸倒引当金	△ 1,805,792	0.0	△ 1,588,406	0.0	△ 217,386	△ 13.7
貯蔵品	25,002,244	0.1	22,769,627	0.1	2,232,617	9.8
前払金	0	0.0	9,492	0.0	△ 9,492	皆減
繰延勘定	0	0.0	0	0.0	0	—
控除対象外消費税額	0	0.0	0	0.0	0	—
資産合計	19,766,540,849	100.0	19,871,210,708	100.0	△ 104,669,859	△ 0.5
固定負債	11,982,556,027	60.6	12,157,484,134	61.2	△ 174,928,107	△ 1.4
企業債	11,982,556,027	60.6	12,157,484,134	61.2	△ 174,928,107	△ 1.4
流動負債	768,324,791	3.9	776,550,755	3.9	△ 8,225,964	△ 1.1
企業債	707,128,107	3.6	695,850,049	3.5	11,278,058	1.6
リース債務	0	0.0	0	0.0	0	—
未払金	22,814,338	0.1	20,379,570	0.1	2,434,768	11.9
未払い消費税及び 未払地方消費税	13,791,800	0.1	34,784,700	0.2	△ 20,992,900	△ 60.4
前受金	896	0.0	0	0.0	896	皆増
引当金	14,165,538	0.1	15,450,026	0.1	△ 1,284,488	△ 8.3
預り金	10,424,112	0.0	10,086,410	0.0	337,702	3.3
繰延収益	3,523,546,620	17.8	3,555,215,054	17.9	△ 31,668,434	△ 0.9
長期前受金	7,641,299,998	38.6	7,419,633,000	37.3	221,666,998	3.0
収益化累計額	△ 4,117,753,378	△ 20.8	△ 3,864,417,946	△ 19.4	△ 253,335,432	△ 6.6
負債合計	16,274,427,438	82.3	16,489,249,943	83.0	△ 214,822,505	△ 1.3
資本金	2,585,015,475	13.1	2,464,777,295	12.4	120,238,180	4.9
自己資本金	2,585,015,475	13.1	2,464,777,295	12.4	120,238,180	4.9
剰余金	907,097,936	4.6	917,183,470	4.6	△ 10,085,534	△ 1.1
資本剰余金	534,173,687	2.7	534,656,967	2.7	△ 483,280	△ 0.1
利益剰余金	372,924,249	1.9	382,526,503	1.9	△ 9,602,254	△ 2.5
資本合計	3,492,113,411	17.7	3,381,960,765	17.0	110,152,646	3.3
負債資本合計	19,766,540,849	100.0	19,871,210,708	100.0	△ 104,669,859	△ 0.5